



# リ リ ツ ク

と

# テ ト ラ

仙台から見る  
海洋プラスチックのいま



会期 2021年1月29日(金)～3月24日(水)

※2月25日は全館休館日

時間 9:00～20:00

会場 せんだいメディアテーク1階

観覧無料

全人類体重相当分 年間生産量 (※1)

その半分 容器 包装 パッケージ 使い捨て (※2)

東京ドーム 7個分 毎年 海へとなだれ込む (※3)

下水処理さえ潜り抜ける マイクロビーズ

もはやピーク 届かない回収法

棚上げて進行 裏で負のストーリー

時の重石 自覚がない消費

タイヤ 靴の底 でさえ剥がれ川へ 運ばれる (※4)

タイムライン 進行中 2050

地球上 魚の総量 超えてく デッドライン (※5)

人生 待たない ワンタイム 君も

いつかタスキ渡す番だ 見渡す海は広くエンドレス

だがジ・エンドあるキャパシティー

現実には容赦ない貸切じゃない君のPC

みたく限界ある空き容量

多種多様 破片 漂う 太平洋

プラスチックスープ 広さは日本の面積4倍超 (※6)

6000mの海の底 または

富士山頂 でも見つかる破片は絵空事? (※7)

何気買って捨てたもの かもしれない

紙のストローで飲むキャラメルマキアート (※8)

持ち歩くマイボトル ひと手間を茶化さないでみな行動

タフなアート バイナルはサイクル 名盤は継承 (※9)

俺は在庫に懺悔する だらしががないさ

断罪されても仕方がないが変える 少しでもマシなほう (※10)

少しずつ意識する生分解性 (※11)

光で土で 少しでもマシな生態系

無闇矢鱈にあげつらう でなく日々つなぐ

思い 重ねていく社会 作りあう

お互い 縛るのでなく 枠を持って自発でパズル

うまく得る時間を獲得

まるでカントみたく自由を確保する (※12)

ルール超え 思考能力 事情はあれど 無駄 省く

自浄努力 期待しよう 本来持ってるはずの

生きるノウハウをジャイルさせてライフする

海は あるがまま 人を受け入れる 遙か昔から

打ち寄せる 波 人の呼吸 リズムとシンクロしていく

因果応報 長い道のりも あとあと 必ず帰ってくる

先は濁さない 共に生きるなら 自分ごと

イエスカ ノーか 選択の刻

俺たちプラステックエイジ 今が汐時

さあ準備はいいか

※1 「全人類体重相当分 年間生産量」

○mymizu 世界と日本のプラスチックゴミの現状

<https://www.mymizu.co/blog-ja/eco-with-kanae-state-of-plastic-waste-japan-world>

年間生産量は約3.8億トンで、これは全人類の体重に匹敵する重量です。(上記サイトより引用)

※2 「その半分 容器 包装 パッケージ 使い捨て」

○mymizu 世界と日本のプラスチックゴミの現状

<https://www.mymizu.co/blog-ja/eco-with-kanae-state-of-plastic-waste-japan-world>

特にペットボトルやレジ袋、食品トレーやストローなど一度利用されただけで捨てられてしまう「使い捨て用」に使われることの多いパッケージのプラスチック生産が、プラスチックごみの量の増加に大きく影響しています。プラスチックごみ全体で見ると、パッケージングがその約半分(47%)を占めていることがわかります。(上記サイトより引用)

※3 「東京ドーム 7個分 毎年 海へとなだれ込む」

○mymizu 世界と日本のプラスチックゴミの現状

<https://www.mymizu.co/blog-ja/eco-with-kanae-state-of-plastic-waste-japan-world>

800万トン(東京ドーム約7個分)は陸地から海にたどり着くという結末(上記サイトより引用)

※4 「タイヤ 靴の底 でさえ剥がれ川へ 運ばれる」

○保坂直紀『海のプラスチックごみ 調べ大辞典』旬報社(2020)

タイヤにはプラスチックが使われているものもあります。

○おおさかプラスチック対策推進ネットワーク会議 発表資料

「海洋プラスチック問題の最前線 株式会社/一般社団法人ピリカ事業概要」p.28

[http://www.pref.osaka.lg.jp/attach/36464/00000000/1-1\\_pirika.pdf](http://www.pref.osaka.lg.jp/attach/36464/00000000/1-1_pirika.pdf)

スポーツ活動で靴底が流出することが予測されています。

※5 「2050 地球上 魚の総量 超えてく デッドライン」

○日本財団ジャーナル

2050年の海は、魚よりもごみが多くなってホント?いま私たちにできる2つのアクション

<https://www.nippon-foundation.or.jp/journal/2019/20107>

○ナショナルジオグラフィック

第2回 2050年には海のプラスチックの量が魚を超える!?

<https://natgeo.nikkeibp.co.jp/atcl/web/18/053000010/053000002/?P=2>

この試算は2016年の世界経済フォーラム年次総会(通称



ダボス会議)で示された。

※6 「太平洋 プラスチックスープ 広さ日本の4倍超」

○日本財団 海と日本 in ふくしま

【海ごみレポート3】漂流ゴミと太平洋ゴミベルト

<https://fukushima.uminohi.jp/report/kaiyogomi3/>

「太平洋ゴミベルト」。遠く離れた太平洋の真ん中で、多種多様のプラスチックの破片がひらひらと浮き、「薄いスープ」をつくっている様子から「プラスチックスープ」とも呼ばれています。北アメリカ大陸とハワイの間に位置する太平洋ゴミベルトの大きさは、なんと160万平方キロメートル。日本の陸地の大きさが約38万平方キロメートルであることと比較すると、そのとてつもない大きさがわかつて思います。(上記サイトより引用)

※7 「6000mの海の底 または 富士山頂 でも見つかる破片は絵空事?」

○環境新聞

<http://www.kankyo-news.co.jp/ps/qn/guest/news/showbody.cgi?CCODE=82&NCODE=2343>

富士山頂の大気からマイクロプラ、大河内・早大教授が調査、地球規模で汚染の可能性も

○Gyoppy!

<https://gyoppy.yahoo.co.jp/featured/118.html>

深海6000mに36年前のハンバーグ袋。研究者に聞くプラスチック汚染研究の今

※8 「紙のストローで飲むキャラメルマキアート」

この部分はスターバックスコーヒーによる紙のストロー導入を想い出しながら書かれた。

○スターバックスコーヒー ウェブサイト

[https://www.starbucks.co.jp/press\\_release/pr2020-3621.php](https://www.starbucks.co.jp/press_release/pr2020-3621.php)

FSC®認証紙カップとストロー不要の新リッド採用で、プラスチック削減に大きく貢献

スターバックス国内103店舗で2020年11月より、一部アイスビバレッジに導入開始

翌年2月に全店舗に拡大を予定(上記サイトより引用)

※9 「バイナルはサイクル 名盤は継承」

「バイナル」とはvinyl=ビニール。海外やDJ文化の中では、レコードがビニールでできていることから「バイナル」とも呼ばれています。レコードの原材料はポリ塩化ビニールというプラスチックの一種です。

※10 「俺は在庫に懺悔する だらしががないさ 断罪されても仕方がないが変える 少しでもマシなほう」

この部分はHUNGER氏自身の葛藤を歌っている。音楽の媒体であるCDやレコードはプラスチック素材。プラスチック使用量を減らすためにプレス枚数を減らすべきだ



が、コストを下げ、長い期間販売するためには在庫を多く持つ必要がある。

※11 「少しずつ意識する生分解性」

生分解性プラスチックとは、プラスチックがバラバラになることではなく、微生物の働きにより分子レベルまで分解し、最終的には二酸化炭素と水となって自然界へと循環していく性質を持ったプラスチックのこと。ただし、分解に時間がかかったり、環境によっては分解しないこともあり、まだ課題は多いが注目を集めている。

○日本バイオプラスチック協会 生分解性プラスチック入門

<http://www.jpbaweb.net/gp/>

○@Living 暮らしに欠かせない“プラスチック”と向き合うために。知っておきたい「バイオマスプラスチック」「生分解性プラスチック」のこと

<https://at-living.press/life/19301/>

※12 「まるでカントみたく自由する確保」

○この部分は哲学者エマニュエル・カントが「純粋理性批判」で書いている「自由」に対する考え方に触発されて書かれた。

HUNGER (ハンガー)

ヒップホップユニット“GAGLE”のMC。生粋の雪国育ち。東北、宮城を活動拠点にこだわり、ラップの可能性をハングリーに追求してきた。ライブを軸にした粘り強いスタンスで着実に信頼を獲得。日本のヒップホップクラシックとの呼び声が高い「雪ノ革命」「屍を越えて」etc … 名曲を生み出してきた。2016年、旅とセッションをコンセプトとした初のソロアルバム“SUGOROKU”をリリース。7ヵ国のアーティストと共演。近年は地元でのラジオ番組のMC、日本のオーディション番組の審査員にレギュラー出演。マルチな活動でヒップホップカルチャーの普及に貢献している。2003年より「松竹梅レコーズ」を主宰。地元仙台出身アーティストの発掘、音源制作や海外のアーティストとの連携プロジェクト。現在まで100作品以上リリースしている。そして2020年夏、日本音楽史上初となる「和太鼓とラップ」をテーマにセカンドアルバム「舌鼓」をリリース。新しくも懐かしい音の鳴りとラップの邂逅がシーンに衝撃を与えている。

「汐時 - しおどき -」のトラック(音楽)をインターネット上でお楽しみいただけます。

右のQRコードからサウンドデータをお聴きいただくことができます。

[https://artnode.smt.jp/project/tetra\\_lyric](https://artnode.smt.jp/project/tetra_lyric)



私たちの生活から海に流れ出たプラスチックごみが、世界中の海に漂う「海洋プラスチック」として大きな問題となっています。2020年7月から開始したレジ袋有料化をはじめ、使い捨てプラスチックを見直す動きが、日本だけでなく世界で広がっています。海洋プラスチックの現状や問題について、なかなか身近なものとして想像するのは難しいかもしれません。しかし、仙台の海岸にも多くのプラスチックごみが漂着しており、遠いところの出来事ではなくなっています。

本事業はそのような海洋プラスチックの現状を、言葉（リリック）と展示を通して市民のみなさんと共有するために行うものです。

仙台を拠点として活動するラッパー HUNGER (GAGLE) は、実際に仙台の海岸をリサーチし、自身の生活にも目を向け、言葉＝リリックとして海洋プラスチック問題を表現します。地球規模の大きな視点だけでなく、日常的な視点を通して、私たちに海洋プラスチックについてイメージする幅を与えてくれます。また、あわせて消波ブロックのほぼ実物大模型を館内に設置、プラスチックの現状について知ることのできる展示を行います。海洋プラスチックの一部は、川に流されたり風に乗ったりして、陸から海へとたどり着きます。今回、陸と海の間にある消波ブロックを、そうしたプラスチックごみを見つめるアイコンと捉えました。

私たちは、プラスチックに囲まれて生活しています。現代の生活にはなくてはならないプラスチックですが、ともにこの状況を知り、付き合い方を考えていく機会となれば幸いです。

仙台市環境局  
せんだいメディアテーク

## プラスチックごみ削減チャレンジ2020について

2020年度、仙台市では「プラスチックごみ削減チャレンジ2020」を行っています。マイバッグ利用促進やプラごみ削減の呼びかけ、企業タイアップによるワンウェイ（使い捨て）プラスチック削減キャンペーンや海岸漂着物の調査など、幅広い取り組みを実施しています。

特設ウェブサイトでは、海洋プラスチック削減に向けた取り組みを行っている団体や企業へのインタビューも掲載しています。削減をめざす身近な仙台人の姿を知ることができます。

仙台市『みらいのわたしたちへ、いま、できること。

～プラスチックごみ削減チャレンジ2020～』特設サイト

<https://pla-reduce.jp/>



プラスチックの分別についての詳細は

仙台市「プラスチック製容器包装の出し方」をご覧ください。

<http://www.city.sendai.jp/haiki-shido/kurashi/machi/genryo/gomi/wakekata/yoki.html>



リリック	HUNGER(ラッパー)
リリックパネル制作	伊藤裕(デザイナー)
什器・情報展示デザイン	渡邊武海(デザイナー)

主催 仙台市環境局  
せんだいメディアテーク (公益財団法人 仙台市市民文化事業団)  
協力 公益財団法人 みやぎ環境とくらしネットワーク (MELON)

 **せんだいメディアテーク** | **art node**  
sendai mediatheque

### ▶展示についてのお問い合わせ

せんだいメディアテーク企画・活動支援室  
〒980-0821 仙台市青葉区春日町 2 -1  
Tel: 022-713-4483 / Fax: 022-713-4482  
Mail: office@smt.city.sendai.jp/  
Web: www.smt.jp

### ▶仙台市「プラスチックごみ削減チャレンジ2020」についてのお問い合わせ

仙台市環境局家庭ごみ減量課  
TEL 022-214-8229